



2月とは思えないとても暖かい心地よい天候の中、今回は、鷹の条山遊歩道の中央コース、約135段の階段について、1～4の4班に分かれて、修理が必要な段を補修しました。事前に準備していた約180cmの横木70本ほどを枕木と杭(くい)として用い、縦長の土嚢袋を利用しての階段補修となりました。また、頂上に近い4班は、支障木の伐倒も行いました。

広島市森林公園からは、お菓子や飲料の差し入れを頂きました。また、1月の黄金山例会で、地元の段々畑持ち主の田中さんが贈呈して下さった八朔を各自3個程度頂くこともできました。

私自身、自宅で試食しましたがとても美味しかっ

たです。いずれもありがとうございました。

また、日頃から森林公園で様々な活動に従事されている我が倶楽部の山本理事長、富田副理事長、見勢井顧問、砂原さんが、前もって入念に道具や資材の準備をして下さり、計画どおり補修を終えることができ、後日、森林公園の職員の皆さまからも、お褒めとねぎらいの言葉を頂きました。春の訪れと共に、公園を訪れる多くの人たちが、見晴らし抜群の遊歩道から鷹の条山巡りを楽しんで下さることでしょう。

以下、担当班のメンバーからフレッシュな感想文を送っていただきましたので紹介します。

《報告：3班 班長 土谷正樹》



【3班副班長：坂田 美和さんより】

「かけやを取って!」「かけやってどれですか?」そんなやり取りから、今日は「掛矢」を知りました。目にするだけで何だか心躍るフォルムの大きな木槌ですが、これがなかなかの強者。その重さを味方につつ、力を入れるのは一瞬の絶妙なタイミング、と教えていただきました。

その他、初めは小さく、徐々に大きく振り下ろすことや、杭(くい)が斜めになってしまった時の対処法など、とても楽しい学びでした。帰宅してからも手順を思い出しながら頭の中で復習。覚えているんだぞ!と、年々弱る自分の脳みそを叱咤しつつ。

【3班：上原 清美さんより】

階段作りを見たことはありますが、自分でやるのは今回が初めて。まずは、落ち葉を熊手で払って状況を見てから横木が進行方向に直角になるように、左右傾きがないように置いてみました。それから左右の杭(くい)を打って横木と同じ高さにしました。杭を打ち込む時になるべく要らない力を使わないようにハンマーの重さを利用すること、階段になる土をならす時は鍬(くわ)を浅めに入れる事などのコツを教わりました。杭は60センチもある長い木を使うことも初めて知りました。手入れをする前は荒れて危ない階段でしたが、きれいになって気持ち良くなりました。これからも機会があれば階段作りに参加したいと思いました。



